

横浜市立上星川小学校

令和4年1月7日



学校だより

1月号



～友だちいっぱい 夢いっぱい 未来へ向かって かがやく星の子～



言葉の力

校長 西山 久美子

西門から見る雪をかぶった富士の美しい姿と1月の澄んだ空気が、新しい年を迎えた上星川小にエールを送ってくれているようです。令和4年が、子どもたち・保護者の皆様・地域の皆様にとって希望に満ちたよい年となりますよう心から願っております。

さて、13日間の冬休みが明け、本日から後期後半の学校生活が始まりました。冬休み前の朝会では、子どもたちに3つの“あ”の宿題を出しました。それは「あいさつを進んですること」「ありがとうを言ったり、言われたりすることがたくさんあるようにすること」「安全に過ごすこと」の3つです。きっと子どもたちはご家庭や地域で意識して取り組んでいたのではないのでしょうか。特に「ありがとう」は1日に何度も聞こえてくるとすてきですね。冬休みに限らず、これらのことは「あたり前のこと」として継続していかれるよう声をかけていきたいと思えます。

ところで、私たちは言葉を通して自分の思いを伝えたり、相手の気持ちを受け止めたりしています。冬休み前に校庭で子どもたちを見送っていると、たくさんの子が「さようなら。」「よいお年を。」と声をかけてくれました。中には、その日の楽しかったことを教えてくれたり、冬休みに楽しみにしていることを話してくれたりした子もいます。「楽しい冬休みを過ごしてね。」「元気に過ごしてね。」と伝えた私自身が、何だかとても嬉しい気持ちになりました。ちょっとした言葉のやりとりが人の心に温かさをもたらすことは、「ありがとう。」「大丈夫?」「がんばったね。」など、日々の教室での微笑ましい会話からも感じられます。子どもたちが育つ環境での温かい言葉やプラスの言葉は、子どもたちに自信をもたらし、優しさを育てるものだと考えます。

ふとした一言が大きな喜びや励ましになったり、何気ない一言から希望を与えられたりする「言葉の力」。だからこそ、私たち大人は言葉を大切に使わなければならないのだと年の初めに改めて心に留め、心が明るくなる言葉で子どもたちを包んでいきたいと思っています。そして、子どもたちの輝く笑顔のため、よりよい環境づくりに向け職員一同さらに力を尽くしてまいります。本年も上星川小学校の教育活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校では、引き続き感染症拡大防止対策を徹底してまいります。ご家庭でもお子様の健康観察、毎日の検温等のご協力をお願いいたします。なお、検温報告はこれまで同様、朝8時までにロイロノートで送信していただきますようよろしくお願い申し上げます。